

学校の沿革

<p>明治6年 6月 8年 6月 13年10月 16年 22年 25年 4月</p>	<p>本校の前身となる文奮（ぶんぷん）学舎・新念（しんねん）学舎・樞玉（しゅぎょく）学舎が設立する。 文奮学校・新念学校・鈴木学校と改称する。 校名を野中小学校と改称する。 校舎を新築する。（現在の武道館の場所） 第二小平小学校と改称する。 小平村立第二小平尋常小学校に改称する。</p>	<p>41年 5月 11月 42年10月 43年 44年 3月</p>	<p>水曜日も給食になる。 現在の南校舎東側部分の使用を開始する。 NHK音楽コンクールの合奏の部で東京地区の最優秀校になる。 南校舎西側部分が完成する。 校庭西側500坪拡張する。プレハブ校舎ができる。（6教室） 十四小学校新設にともない、児童307名が移籍する。</p>
<p>昭和4年 1月 8年 4月 11年 14年 4月 16年 19年 22年 26年 2月 27年 31年 32年 33年12月 34年10月 36年 3月 4月 6月 37年 1月 4月 5月 10月 38年12月 40年</p>	<p>小平村立第二小平尋常高等小学校として開校する。 学級増加に伴い、分教場を設置する。（現在の武道館の場所） 学級数増加に伴い二部授業を実施する。（尋常科9・高等科4） 旧校歌を制定する。（作詞：瀧島晴吉 作曲：山本正夫） 東京府北多摩郡小平村立小平第二国民学校と改称する。 東京都北多摩郡小平町立小平第二国民学校と改称する。 東京都北多摩郡小平町立小平第二小学校と改称する。高等科を廃止する。 新校舎が完成する。（南側二棟とも一階建） 校庭を拡張する。（昭和25年と2回にわたる拡張） 児童数の増加にともない、二部授業を実施する。 分校が小平第五小学校となる。 校舎を新設する。（二階建て） 北校舎を新築する。 新校歌を制定する。 学級数増加にともない、分教場を設置する。（現在の武道館の場所） 校旗を制定する。 若草学級を開設する。 分校が小平第七小学校となる。 交通量の増加にともない「みどりのおばさん」を配置する。 小平市立小平第二小学校と改称する。 学校給食を開始する。（月火木金の週4日間） 第九小学校新設にともない、103名の児童が移籍する。</p>	<p>45年 5月 46年 47年 3月 48年 3月 49年11月 52年 3月 53年10月 58年 3月 平成9年 4月 13年 2月 14年 16年 18年 20年 6月 10月 21年 4月 26年 7月</p>	<p>プールが完成する。 青梅街道に信号機がつき「みどりのおばさん」が廃止される。 北校舎西側部分が完成する。（11教室・家庭科室・図書室） 北校舎東側部分が完成する。（11教室・音楽室・理科室・若草3教室） 体育館が完成する。 学園東小学校新設にともない、児童474名が移籍する。 開校50周年記念式典が行われる。 ことばの教室（通級学級）を開設する。 回田道幅により、校地東側が削られる。正門が完成する。</p>
			<p>ランチルームができる。 高齢者交流室がオープンする。 文部科学省指定「豊かな体験学習」の指定校になる。 ピオトープの池と観察路が完成する。 小平市研究協力校となり「家庭や地域との連携で進める教育活動の創造」について研究発表を行う。 東京都人権尊重教育推進校となり「子どもの夢と希望をはぐくむ学校づくり」について研究発表を行う。運動会が紅・白・青の3色対抗になる。 開校80周年記念児童集会を行う。 開校80周年記念式典を行う。 きこえの教室（通級学級）を開設する。 北側万年塀を生垣に改修</p>